

まい子は、お母さん子 「ざん
げの時間」

hm34iagc6549

ざんげの時間

シャンラララン シャンラララン

こころが勝手におどりだす シャンシャンルルル シャンルルル

まいこのお気に入りのラプソディー シャンシャンルルルル

ここはわたしだけの夢の世界

リズムに合わせてステップタンタン

うさぎのロランもクルクルまわるよ

オーロラのカーテンまぶしくはばたいて

窓のすきまから北風さんが顔をのぞかせこんにちは

まいこもやさしくほほえんでロランも両手をさしのべた

つられてにっこりの北風さんは

まいこのリズムにさそわれるように手をつなぎ

タンタンタンとステップを始める

みんなが楽しくおどるのに言葉なんてひつようないもの

まいこもロランも北風さんも他のおもちゃたちも加わって

みんなほがらかな笑みを浮かべている

みんながしあわせな気持ちになっている証拠だ

北風さんが困った笑顔を見せるように

うさぎのロランに聞きました。

「また今日もやっちゃったのかい？」

「やっちゃったみたいなの。」

ロランはクスッとくちに手をあてて笑い

そのまま他のみんなもまいこもさらには

はげしくステップをふみだした

夢のお部屋のカーニバルだ

シャリン シャリン シャリン

まいこがいちだんともりあげて

みんなをリズムにさそいこむ

まいこのとくいわざだ

とっても陽気な気分なのに

なみだがぽろぽろこぼれてくる

ロランの目にも 北風さんの目にも

おもちゃたちの目にも そら君の目にも

きれいなきれいななみだの虹が！

やがてみんなお酒にでもよったように

盛り上がり、こころにあかりがともるころ

柱どけいがボーン ボーン ボーン

3時を知らせるチャイムがなった

そのしゅんかんまいこのステップがぴたりと止まり

みんなもリズムをぴたりと止める

「あ～あ。おわっちゃった。」

北風さんがとても残念そうに

でもどことなく満足そうに言いました

「ああ、いい気持ち。ところがすっかり洗われたようだ。」

「ざんげの時間はおしまいだね。」

ロランうさぎも満足そう

「まいこはざんげの天才だね ああねむい。」

ロランが大きなあくびをひとつ

他のみんなもおもちゃ箱や自分たちのねどこに

戻ってゆきます。

「僕もまた通りかかったらよらせてもらうよ。」

北風さんは、にっこり笑うと窓のすきまから

ヒューッと音をたてて空の向こうへと

消えてゆきました。

まいこがぼつんとひとりしずまりかえる夢の部屋へ

耳をすますとキュッ キュッ キュッ

誰かが階段をのぼってくる足音が・・・。

キュッ キュッ キュッそして・・・。

やさしいリズムをきざんだその足音が

まいこの部屋の前でぴたりとやみ

ゆっくりとそのとびらは開かれた

窓の外からあふれてくる暖かいお昼の日差しが

まいこの身体をやさしく包み込んだ

「もういたずらしちゃだめだからね。」

そこには3時のおやつを持ってきたお母さんが

まいこのやさしい笑みにつられるように

にっこりと微笑んだ。

「だあ だあ～。」

ごきげんなまいこのほおには、

いくせんの洗い流された涙のしずくが

キラキラキラキラ輝いていた。

そして雨あがりのせいか窓の外の向こうには

いつのまにか七色の大きな虹が

まいこを見守っていた。